

## &lt;別紙1&gt;

## 第三者評価結果報告書

## ① 第三者評価機関名

ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部

## ② 施設・事業所情報

名称：神ノ木保育園	種別：認可保育所	
代表者氏名：園長 田代 仁美	定員（利用人数）：204名(170名)	
所在地：〒221-0001 横浜市神奈川区西寺尾3-2-13		
TEL：045-431-9300	ホームページ： <a href="https://www.shoutokukai.jp/facilities/kaminoki">https://www.shoutokukai.jp/facilities/kaminoki</a>	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日 1950年7月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 聖徳会		
職員数	常勤職員： 32名	非常勤職員 11名
専門職員	保育士 31名	事務員 1名
	栄養士 3名 (内 管理栄養士 1名)	保育補助 6名
	調理員 2名	
施設・設備の概要	(居室数)	(設備等)
	乳児室（0～2歳児室）4室	鉄筋コンクリート造り2階建て 建物延床面積 844.54 m <sup>2</sup> 園庭 1,197.6 m <sup>2</sup>
	幼児室（3～5歳児室）4室	
	沐浴室 2室	
	調理室 2室	
	トイレ 2室	
	事務室 1室	
	職員休憩室 2室	

## ③ 理念・基本方針

## 【保育理念】

未来を創る子どもたちへ私たちが贈りたい大切なもの、それは「自分らしく、幸せに生きる力」です。いつの時代にあっても、何を大切に思うか、何を表現し、何を伝えていく人になるのか、子どもたちが選び決めていく未来は、心に培った強さ・優しさ・美しさが基盤となります。

## 【保育方針】

◇子どもにとって明日もまた来たいと思う保育園

- ・子どもが安心して過ごせること
- ・子どもの関心、意欲を最大限に伸ばすこと
- ・子どもが生きていく中で必要な知識・技能・技術を発達段階に応じて身につけること
- ・子どもの人格が尊重されること

◇保護者にとって安心して預けられる保育園

- ・保護者の皆さまが安心して就労できる環境をつくる
- ・保護者の皆さまの子育てに役立つ、情報交換・交流の場を提供する

- ・保護者の皆さまの子育てに役立つ、専門性を生かした情報発信をおこなう
- ・保護者の皆さまの子育てが親子共にさらに幸せな時間になるような援助をおこなう

#### ④ 施設・事業所の特徴的な取組

##### 【立地および施設の概要】

神ノ木保育園は、JR横浜線大口駅から徒歩7分の高台にあり、保育室からは遠くに横浜線やみなとみらい地区が見えます。保育園の周辺には公園が多数あり、自然の地形を生かした公園、木の実や草花を楽しめる公園、思い切り走り回れる広場があり、季節、年齢、遊びの内容を考慮して散歩の行先を選んでいきます。0歳から5歳児まで、定員204名のところ170名が在籍しています。

運営法人の社会福祉法人聖徳会は、当園のほか、横浜市内に4保育園、埼玉県日高市に1園の計6保育園を運営しています。

##### 【園の特徴】

戸外遊びの場として、整地された広い園庭のほか、屋上広場や乳児向けのあそび場（にこにこランド）があります。また、坂の途中にある保育園の特徴を生かし、畑や雑草が深く生い茂る自然の地形を生かした第二園庭（どろどろランド）があり、子どもたちは、足元が泥んこになりながら時間を忘れて自然に親しんでいます。

子どもたちが遊びこんで発展する想像の世界を大事にし、子どもたちの自由闊達な姿を見守り、子どもにとって明日もまた来たいと思う保育園を目指しています。

連絡用アプリを活用して、子どもたちの活動の姿をドキュメンテーション（写真、動画、コメント等）で保護者に知らせ、職員たちもリアルタイムで情報共有して、子どもたちの成長する姿を保護者・職員の双方で確認しています。

#### ⑤ 第三者評価の受審状況

評価実施期間	2022年4月1日（契約日）～ 2022年11月26日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	3回（2016年度）

#### ⑥ 総評

##### ◇特長や今後期待される点

##### 1. 子どもの自主性、創造性を大切にした保育

職員は一斉遊びを強要することなく、子どもたちの自主性、創造性を大事にして見守っています。また、子ども一人ひとりの育ちや状況を理解し、自分でやりたいという気持ちや最後までやり通したいという気持ちを尊重し、見守りや援助をすることで成功体験を増やせるようにしています。

畑に植える苗や種を自分たちで決めて近隣の八百屋に買いに行ったり、トラブルをみんなで話し合い、保育室に張り出しルールを守っています。

子どもたちは段ボールや廃材を使って箱を作り、遊びこんでいるうちに電車に発展し、さらに変化して家にするなど、次々と想像の世界を発展させて楽しんでいます。主体になっている子どもたちは、完成するとその都度、他の学年の子どもにも楽しんでもらっています。

生活発表会では、テーマ・セリフ・背景等を子どもたちで相談し、アイデアを出しあい、考えたり工夫したりして一つのものを作り上げる協同的な関わりをしています。

##### 2. 職員全体のレベルアップへの取組み

職員役割分担表で全職員が何らかの役割を担う体制があり、研修、子育て、防災・リスクマネジメント、ICT、衛生、食育等のプロジェクトチームが各テーマ別に毎月園内研修を行ない、プロジェクト推進の話し合いをしています。防災・リスクマネジメントチームは、職員が日々の活動で使用している保育室や園庭でのケガ等の事例および危険を予知する場所を1枚の地図にまとめたリスクマップを作成し、事務室の壁に貼って危険防止に努めています。また、園内研修では、毎月、クラス別に保育の場面の写真を見て、5領域についての勉強会を行っています。

年代別に「すくすく会議（入社3年目までを対象）」「エルダー会議（中堅職員対象）」を毎月行い、保育のあり方について同年代間で意見交換をし、研修担当職員からアドバイスを受ける等、レベルアップを図っています。

研修担当者は外部研修情報を常時把握して職員に情報提供し、レベルに合った研修を個別に紹介しています。

### 3. 保育士人材育成表作成の検討

職員の経験に応じて分野（安全衛生、保育力、保護者対応等）ごとに目標、内容（必要な知識・技術、内部・外部研修等）を明示することにより、保育士個人の今後習得すべき内容の確認ができます。職員のキャリアパスを明確化するためにも、保育士人材育成表を作成することが期待されます。

## ⑦ 第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

神ノ木保育園は「子ども達が大切にされていると感じる場」という目標のもと、未来を創る子ども達に法人理念である「自分らしく幸せに生きる力」を贈りたいと願い、職員全員が専門知識と技術を用いて保育及び保護者支援に努めています。

開設70余年の歴史の重みと実績を大切に感じつつ、令和の新しい流れや価値観を受け止め、職員一同も未来へ向けて進んでいきたいと考えています。

三回目の第三者評価を受審するにあたり、保育士ひとりひとり・各学年・職員全体で保育を振り返り、保育園の役割についても時間をかけて話し合いました。足りない部分や課題、保育環境の見直しと改善、保護者支援の在り方などを考えていく中で、職員全員が共通意識を持ち連携をとることの重要性を改めて感じる事ができたのも大変価値のあることでした。

提言を頂きました地域との関わりについて感染状況が落ち着き次第すぐに取り掛かれるよう、地域の方たちをご招待できる催しや子ども達の社会性を育てていける様々な交流を用意していきます。ご指導頂きました事柄を保育所運営に活かし、お褒め頂きましたことを励みとし保育の質を高める取り組みを続けて参ります。

また、お忙しい中アンケートに応じてくださいました保護者の皆様にも大変感謝しております。お寄せ頂きましたご意見ご要望などに深く耳を傾け心を寄せて「保護者にとって安心して預けられる保育園」として利用者や地域の方たちのお力になれるようさらに向上心を持ち研鑽を重ねて参ります。

神ノ木保育園 園長 田代 仁美

## ⑧ 第三者評価結果

別紙2のとおり